

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
1	R5.11.9 板倉区A	地域協議会委員は来年改選だが、現行の制度では委員のモチベーションが削がれていっていると感じる。9月定例会で議員から行政に対し制度設計の期限を区切るなど、もっと突っ込んだ議論をしてほしい。12月定例会での議論に期待したい。	令和5年9月定例会では、改選に向けてあまり進展のある答弁はなかった。令和4年5月に議会として政策提言をしたが、前に進んでいない。改選に向けて、議会として何ができるのか確認していきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
2	R5.11.9 板倉区A	議員が地域協議会委員に対して何を期待しているのか見えない。地域協議会委員をやってみて、個人的に、この組織はなくてもいいのかなと思う。	地域の事を地域で考えるための組織として地域協議会を作った。行政のためではなく地域のための組織で、地域協議会が物事を決めて、まちづくり振興会などを動かしていけるような権限を持たせていくことが大事だと思う。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【総務常任委員会からの補足】 令和4年4月に総務常任委員会が行った地域協議会の在り方に関する提言では、地域の課題を解決する組織として地域協議会がこれからも存続し、地域のごとは地域で解決するその中心的存在となる仕組みをつくるよう提言している。
3	R5.11.9 板倉区B	地域住民が納得できるよう、透明性をしっかり担保してほしい。	地域独自予算になり、事業の予算・決算について議会としてもチェックしていくことになった。透明性も上げていく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
4	R5.11.9 板倉区B	来年春に地域協議会委員は改選になるが、定員を割るのではないかと心配している。自主的審議事項と市長からの諮問が中心であり、委員に対するモチベーションが上がらない。	・地域協議会の在り方や委員の権限について、整理する必要があると感じている。委員がやる気を持てるような具体的な仕組みを検討する必要がある。 ・名古屋市では、地域協議会に似た制度があり地域の課題解決のための予算がつく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 地域協議会の在り方については、地域自治推進プロジェクトにおいて理想的な姿を考察した上で、令和6年度から具体的な制度設計を行うこととしています。当面、令和6年4月の委員改選に当たっては、地域の多様な意見を会議に反映させていく方法や委員が会議に出席しやすい環境づくり、会議運営の充実に向けた研修など、運用上の改善や工夫に取り組む予定としています。（地域政策課）

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
5	R5.11.9 板倉区B	地域協議会の役割が中途半端な形で進んでいるのが現状と思う。過渡期で、来年の改選には間に合わないと思うが、少しずつでも変えていくべきだと思う。	<p>・行政へ伝える。</p> <p>・委員の皆さんのモチベーション維持も大切な要素。しっかりと時間をかけて制度設計も含めて検討するべきだったのではないかと感じている。</p>	<p><input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える</p> <p><input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり</p> <p><input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する</p> <p><input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）</p> <p><input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする</p>	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 地域協議会の在り方については、地域自治推進プロジェクトにおいて理想的な姿を考察した上で、令和6年度から具体的な制度設計を行うこととしています。当面、令和6年4月の委員改選に当たっては、地域の多様な意見を会議に反映させていく方法や委員が会議に出席しやすい環境づくり、会議運営の充実に向けた研修など、運用上の改善や工夫に取り組む予定としています。（地域政策課）
6	R5.11.9 板倉区B	地域活動支援事業では、内容が適正なのか疑問に感じる予算の使い方をしている地域もあったので、地域協議会に審査を任せられないと思われても仕方がない。地域によって、ルールに違いがあったようだ。	基準が曖昧で、事業の本来の目的にそぐわない経費を地域支援事業で負担してしまうこともあったようだ。	<p><input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する</p> <p><input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり</p> <p><input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する</p> <p><input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）</p> <p><input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする</p>	
7	R5.11.9 板倉区B	これまで、地域活動支援事業の審査に地域協議会委員として責任を持って関わっていた。今年度から地域独自の予算に移行し、地域協議会として関与しなくなった。透明性は担保されているのか疑問。現在は、自主的な審議事項を決めて話し合っているが、権限も何もない。議員は地域協議会の在り方をどのように考えているのか。	地域協議会の在り方は議会でも議論されている。地域協議会には、地域の課題を自主的審議事項として吸い上げる機能がある。諮問に関しては、単に「環境にどのような影響があるか」といった内容の協議に狭まってしまっている。地域活動支援事業の審査を通して、地域の活性化に向けた予算の使い方を話し合っていたのが、地域独自の予算になり、これができなくなってしまったのも問題だと考える。	<p><input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する</p> <p><input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり</p> <p><input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する</p> <p><input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）</p> <p><input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする</p>	
8	R5.11.10 安塚区A	令和4年4月に総務常任委員会が、地域自治・住民自治及び地域協議会と総合事務所のあり方に関し提出した提言書について、市ではどのように検証しているのか。議会が所管事務調査を行って出した提言であり、非常に重く受け止めている。	13区の現状を踏まえて出した提言であり、行政がこれからどう対応していくかを議会として検証していくことになる。	<p><input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する</p> <p><input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり</p> <p><input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する</p> <p><input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）</p> <p><input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする</p>	

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
9	R5.11.10 安塚区A	地域独自の予算事業について、補助金制度と提案制度の併用となっているが、議会としてどう評価しているか。補助率に上限が設定され、事業実施をあきらめる団体もあり、事業目的を達成するには制度内容が不十分と考える。この際、提案制度に一本化してはどうか。	地域の団体が自立を目指して努力することも大事だと考える。制度が開始されて間もないので、議会としてもしっかりと検証していきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
10	R5.11.10 安塚区A	町内の住民で自分たちの地域をどうするか考えて、総合事務所に相談しながらいろいろなことに取り組んでいる。みんなで考えていけば安塚だってまだまだ捨てたものではないと思っている。	ご意見を参考にさせてもらう。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
11	R5.11.10 安塚区B	（議員からの問いかけ）人口減少対策の有効策について皆さんの考えを聞きたい。 → 半数以上が後期高齢者で、手を打つにしてももう遅いと思う。廃村となったとき、地域で所有している集会所の取扱いはどうなるのか。処分するにもお金がかかる。総合事務所へも相談しているが、市から補助金などを検討してほしい。	-	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
12	R5.11.9 板倉区A	以前、地区で火災が発生した際、消防車の到着が遅れたが、初期消火を地元の消防団経験者で対応したことにより大きな火災にならずに済んだ。今は消火栓を使えなくなっているが、使えるようにしてほしい。	3年程前の点検で問題が見つかり一般の人が使用すると危険だという理由で、上越市では使用を禁止している。一般質問で一般の方の使用が可能となるよう提案したが、市の方針は変わらなかった。今後も引き続き市へ伝えていきたいと思う。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 消火栓を使用した消火活動には危険を伴うことから、市では一般市民による消火栓の使用を遠慮いただいています。一般市民の方には、日頃の火災予防、火災発生時の速やかな119番通報、消火器等による初期消火、避難誘導等に協力いただきたいと考えています。（危機管理課）

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
13	R5.11.9 板倉区B	冬場は積雪で消火用水の確保が不安で、火災が心配。上越市は消火栓の操作は消防団員でないと行えないことになっているが、糸魚川市では消防団OBであれば操作できると聞いている。議会では議論されていないのか。	<p>・この問題に関しては他の地区でも議論されており、地域によって、日中消防団員がいない時は消防団OBが操作してもよいとなっているところもある。ただ、大変危険を伴う作業なので、訓練の必要性等、行政と話し合う必要がある。</p> <p>・消防団員が減っている実情もあるが、地域を守るため、OBの力を借りるなどのアイデアも出ている。ご意見は行政に伝える。</p>	<p><input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える</p> <p><input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり</p> <p><input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する</p> <p><input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）</p> <p><input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする</p>	<p>【行政側からの回答（R6年2月時点）】 消火栓を使用した消火活動には日頃からの訓練や安全装備等が必要であり、これらが整わなければ消防団のOBであっても安全かつ迅速な消火活動を行うことは困難と考えます。このことから、危険が伴う消火活動は消防署や消防団が担うべきものと考えています。（危機管理課）</p>
14	R5.11.9 板倉区B	地域協議会で糸魚川市に視察に行った。上越市ではホースや格納庫は町内会の管理になっているが、当町内には消防団がなく、隣の町内会の消防団に頼んで動いてもらっている状態である。議会として課題の根本的なところを整理して行政に働きかけてほしい。	<p>消防団のなり手不足や、消火栓のことなど、これまで多くの議員が一般質問などで行政へ問いただしてきたが、なかなか解決に向かっていない。引き続き行政へ働きかけていきたい。</p>	<p><input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える</p> <p><input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり</p> <p><input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する</p> <p><input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）</p> <p><input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする</p>	<p>【行政側からの回答（R6年2月時点）】 ホース格納箱及び箱内のホース等は、平成17年1月の市町村合併時に地元町内会へ無償移管し、現在は町内会の財産であるため、維持管理は町内会が行うこととなります。また、消火活動は、消防署や消防団は車両に積載したホースを使用することを基本としています。したがって、市がホース格納箱及び箱内のホース等を維持管理することは考えておりません。 また、消防団では、団員の減少が続く中、消防力を維持していくため、団の再編を進めています。加えて、団員の負担軽減にも配慮しつつ、団員の募集にも鋭意取り組んでいます。（危機管理課）</p>
15	R5.11.9 板倉区B	女性でも扱える口径の細いホースであれば、高齢者も扱えるのではないかと。また、格納庫の管理は町内会に任されており、町内会で撤去することも可能な状況だ。火災が起きても操作できる人員がいないのでは、ホースや格納庫は何のためにあるのか。必要ないのであれば市全体で撤去等の対応をしてほしい。	<p>・根本的な課題は、地域で操作できる消防団員が減ったことで、人が減った分をどう補完するか等検討すべき課題が多くある。</p> <p>・万が一、事故が起きてしまっただけでは取り返しのつかないことになるので、難しい問題。</p> <p>・地域に若手の防災士を育成し、消火器の操作方法を住民と確認するなど、地域での訓練や防火意識の醸成も大切だと思う。</p>	<p><input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する</p> <p><input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり</p> <p><input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する</p> <p><input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）</p> <p><input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする</p>	

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
16	R5.11.9 板倉区	（議会報告に対する質疑） 高齢者安全運転支援装置設置補助で、令和4年度の交付件数が577件とあるが、実際に事故は減ったのか。	市では本事業による事故件数の変動までは把握していないが、当事業により安全運転支援装置の設置が促進され、高齢者の安全運転をサポートできたものと考えている。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等での対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 直近5年間に市内で発生した高齢運転者事故件数（特殊車両、二輪車を除く）は、令和元年：57件、令和2年：64件、令和3年：65件、令和4年：49件、令和5年：45件であり、令和3年までは増加傾向にありましたが、本事業を開始した令和4年からは減少に転じています。また、補助事業利用者に行ったアンケート調査では、「交通事故防止に寄与している」と回答した方が約9割、「安全運転に気を付けるようになった」と回答した方が約8割となっており、高齢者の交通事故防止と安全運転意識の向上に寄与しているものと考えています。（市民安全課）
17	R5.11.12 こどもセンターC	富岡小学校北側のウイングマーケットに入る交差点は、信号がなく、危険で通学に不安を感じる。押しボタン式でもよいので、信号機を設置してほしい。	議会で検討し、行政へ伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等での対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
18	R5.11.9 板倉区A	第7次総合計画では、遠回しにコンパクトシティをうたっていると思う。山間部から都市部への集約は今から進めていかないと実現できないと思う。	全国的な流れではあることは理解しているが、個人的には、そこに生活がある限り、その地域をしっかりと守っていかなければならないし、そのために我々市議会議員がいると思っている。 総合計画は、これからのまちづくりのエリアごとのランドデザインであって、物事を進めていくための指針と捉えている。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等での対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
19	R5.11.9 板倉区B	新幹線駅周辺のまちづくりが進んでいないように見える。市はどう関わっているのか。	北陸新幹線の敦賀延伸により、「かがやき」の停車駅が増えたが、上越妙高駅には停車しない。かがやき停車に向け、市としてさらなる要望活動が必要だと思う。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
20	R5.11.10 安塚区B	上越市への移住者数が増加しているとのことだが、安塚区に移住した人は最近ほとんどいないのではないか。市の移住定住の案内に、キュービットパレイスキー場など安塚区の資源を取り上げてPRしてほしい。	気軽に宿泊して安塚の良さを感じてもらおうと「おためしハウス」を整備して、毎年4組ぐらいの方から利用していただいている。広く周知し、幅広く活用してほしいが、現状はまだ浸透していないところがある。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
21	R5.11.10 安塚区B	（議員からの問いかけ）免許証を返納した後、ライドシェアの検討が始まっているが、ニーズはあるか。 → 安塚ではオンデマンドのタクシー運行がある。NPOでも対応している。	-	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
22	R5. 11. 12 こどもセンターA	子ども（高校生）の通学時に利用できる公共交通機関が少なく不便である。高校は高田地区に集中しており、バスや電車の便も悪い。住んでいる地域によって負担する交通費が大きく違うのも何とかならないものか。定期券は土日を除く料金設定してほしい。朝の通学用の巡回バスがあってもいいのではないか。	-	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 公共交通機関の運行本数・ダイヤ等については、利用ニーズはもとより、他の交通手段との接続や運転士の体制などをもとに設定されています。市では、交通事業者が行うダイヤ改正に当たり、利用ニーズに合わせたダイヤ設定を依頼しているほか、中山間地域においては、通学に利用できる定額制のコミュニティバスの導入に取り組んでおり、今後も導入地域を拡大していくこととしています。また、これまで、鉄道運賃の値上げの際には市の要請を受け学生定期券の値上げ幅が抑制されたほか、通学時間帯に高田・直江津駅から学校最寄りのバス停まで100円で利用できる「通学100円バス」が運行されるなど、通学利用の利便性の確保が図られているところです。引き続き、交通事業者と連携し、日常生活の移動手段の確保と利便性の向上に取り組んでいきます。（交通政策課、教育総務課）
23	R5. 11. 12 こどもセンターA	高校生の通学に関しては、実際に通学する高校が決まった後に、様々な問題点が浮き彫りになる。中学生の時に、高校を選択する過程では、電車やバスの便の不便さや定期代については気が付かない現状があるだろう。	-	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 各中学校では、高校進学前の個別指導の際に、通学手段についても確認を行っているところですが、今後も継続して通学手段を含めた進学指導を行うよう、学校に対して指導していきます。また、県立高等学校の再編整備に当たっては、地域の交通事情や地元生徒の入学状況などに加え、保護者の通学費負担の増といった課題も十分考慮した上で進めていただくよう県へ要望しており、今後も機会を捉えて要望していきます。（交通政策課、教育総務課、学校教育課）
24	R5. 11. 9 板倉区A	板倉区には小学校の統合により4つの廃校になった校舎がある。利活用について議員の考えを聞きたい。 (議員の発言後) 地域協議会では、大きな問題と捉えており、有効利用されている糸魚川市の施設を視察してきた。今後も関係団体と協議するなど検討していくので、市議会としてもイニシアチブをとって、一緒に考えていってほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設の老朽化の度合いも異なり、利活用となるとリニューアルの費用面の課題があると考えます。 ・行政も資産活用課を立ち上げ、行政財産を普通財産に切り替えて幅広い用途に利用してもらえるように対応している。個人的には、行政の空き施設を検索できるようなシステムがあれば、全国からオファーがあるのではないかと考えている。 	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
25	R5.11.12 こどもセンターB	市民税の控除について、自治体によっては、妊娠して産休育休入るタイミングで控除されるところがある。確認したが上越市はやってない。翌年からは控除があるが、支払いが大変である。現状に見合った控除があれば良いと思う。	-	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 市民税は前年の所得を基に課税される制度であるため、長期休業などで収入が減少した場合でも納税いただく必要があります。なお、収入が減少し生活が著しく困難となった方は、減免などの軽減措置を受けられる場合がありますので、ご相談ください。（税務課）
26	R5.11.10 安塚区B	（議員からの問いかけ）人口減少対策の有効策について皆さんの考えを聞きたい。 → 明石市や岡山県の奈義町の取組は有名で、人口減少対策で成功している自治体を見ると、議員の人数や報酬を減らしたりして、その予算を子育て支援などに充てているところが多いのでは。あれもこれも大事とやっけては、今まで通りで特色のない市になってしまうのではないかと。	-	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	/
27	R5.11.12 こどもセンターB	Iターン、Uターンをもっと推進した方がいいのではないかと。戻ってくる理由の1つとして子育て環境の充実があるのではないかと。	-	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 移住検討者が移住先を選ぶ際に、特に子育て世帯にとっては子育て環境への関心は大きいと認識しています。当市の子育て環境について、移住者からは概ね好評との声を聞いています。新制度等も含め、当市の良さを丁寧に案内していきたいと考えています。（多文化共生課）
28	R5.11.12 こどもセンターA	五智公園が改修され、子どものフリースペース的な機能を持たせた施設ができるという話があるようだ。そのような利用が促進できればと思う。	-	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 五智公園基本計画、短期整備計画に基づき、広場をはじめとした子どもが利用しやすい公園施設の整備を計画しています。（都市整備課、こども政策課）

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
29	R5.11.12 こどもセンターB	直江津にもこどもセンターがほしい。雪が降ると高田まで来るのが大変。	-	<input type="checkbox"/> 1 委員会等での対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 市内25か所に開設している「子育てひろば」においても、子どもの遊びの場や保護者の交流の場の提供とともに、子育てに関する相談支援等を行っていますので、是非ご利用ください。（こども政策課）
30	R5.11.12 こどもセンターC	以前上越市民で、現在住んでいる近辺にこどもセンターのような施設がないので大変助かる。ただ、雨天時や冬期間に遊べる施設をもっと増やしてほしい。	議会で検討し、行政へ伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等での対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
31	R5.11.12 こどもセンターC	市民プラザこどもセンターは、小学生は利用できないことになっているが、子どもが行きたがるので、小学生を受け入れてほしい。また、高学年の子どもが遊べる場所がほしい。	議会で検討し、行政へ伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等での対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
32	R5.11.12 こどもセンターC	子どもの遊べる場所をもっとほしい。こどもセンターは2ヶ所では足りない。子育て広場は敷居が高い。気軽に寄れて、相談や懇談できるところをもっとほしい。	議会で検討し、行政へ伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等での対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
33	R5.11.12 こどもセンターA	市のオンラインの移住セミナーを受け、最近上越にUターンしてきた。移住前に住んでいた札幌市は人口が多いので子育て支援施設が充実していた。保育園に併設した施設が点在していて、保育士が常駐し、ワンストップで気軽にいろいろな相談ができる体制がある。札幌は冬期間、外遊びができないので、おもちゃやイベントが充実しているのもよかった。	札幌市の取組を参考にしたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 市内に2か所ある「こどもセンター」のほか市内25か所に開設している「子育てひろば」においても、子どもの遊びの場や保護者の交流の場を提供するとともに、子育てに関する相談支援等を行っています。他の自治体の事例も参考にしながら、引き続き、安心して出産・子育てができる環境の整備に取り組んでいきます。（こども政策課）
34	R5.11.12 こどもセンターA	子育て世帯へは、給付より支援、お金より集まる場所を作ってほしい。札幌市は移住者が多く、コロナ禍の影響もあり、仲間づくり、コミュニティづくりを支援する団体・イベントが多かったのも、外から来た人も仲間を作ることができた。	移住者の視点でのお話を聴くことができ大変参考になった。また数か月後に、しばらく住んでみてのご意見をお聴きしてみたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 市内に2か所ある「こどもセンター」のほか市内25か所に開設している「子育てひろば」においても、子どもの遊びの場や保護者の交流の場を提供するとともに、子育てに関する相談支援等を行っています。他の自治体の事例も参考にしながら、引き続き、安心して出産・子育てができる環境の整備に取り組んでいきます。（こども政策課）
35	R5.11.12 こどもセンターB	妊婦、子どもに対してのどのような施策があるかわからない。冊子等はもらうが、産休に入るまでは時間が取れず見ることができない。情報はたくさんあるが、周知がされていないと感じる。手続きが面倒。手書きのハードルも高く、今ならネットで完結できるのではないかと思う。	市民と市長との対話集会でも同様の意見があった。市長からはデジタル化を進めていくとの話があった。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 SNSやメールマガジンを活用したプッシュ型の通知や子育て支援事業を分かりやすくまとめたPRリーフレットの作成など、必要とする方に必要な情報が届くよう効果的な情報発信を行うとともに、各種手続の電子化についても可能なものから順次進めていきます。（こども政策課）
36	R5.11.12 こどもセンターA	助産師に相談できる産後ケア事業はとてもありがたかったが、産後1年を過ぎると有料になってしまうのは残念だ。オーレンプラザこどもセンターの相談窓口は保育園のことなどもいろいろと相談に乗ってくれて助かっている。市役所まで行くのはなかなか大変。	-	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 妊娠・出産・育児に関する相談については、市の保健師、栄養士、相談員が随時、電話や家庭訪問でお受けしています。市役所に来ていただくなくても、電話いただき、相談される方の家庭の状況に合わせた方法での相談をお受けし、必要に応じて保育園等の関係部署への連絡調整も行っていきます。（健康づくり推進課、こども政策課）

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
37	R5.11.12 こどもセンターB	産前産後ヘルパー制度を2回程度利用してみた。困った時に助産院があればと思う。	昔は助産院があり、そこで出産もできたが、今はない。先日行われた市民と市長との対話集会において、これから産後ケアを併設した助産院を開業するという助産師さんがおり、市長もできる限り要望に答えていきたいと答えていた。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 市で助産院を開設する予定はありません。（健康づくり推進課）
38	R5.11.12 こどもセンターB	ベビーシッターは、金銭的にハードルが高い。お試的に利用できる制度があれば、ハードルが下がるのではないかと。初回の1回分の料金を補助してもらえるとありがたい。	ベビーシッターとの相性もあり、お金の心配がある。他の意見交換会でも0歳児から無料にしてほしいとの意見があった。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 ファミリーサポートセンター事業では、0歳から18歳までの子どもを対象に、子どもの預かりや送迎等を行っており、1時間700円（休日・夜間は800円）で利用できます。（こども政策課）
39	R5.11.12 こどもセンターB	ごみ袋の引換券支給はありがたい。おむつの支給も検討してほしい。食事を作ることも大変なので、ミールキット等の配布もあつたら助かると思う。	明石市のおむつの宅配のような制度もあればいいと思う。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 他の自治体の事例も参考にしながら、引き続き、安心して出産・子育てができる環境の整備に取り組んでいきます。（こども政策課）
40	R5.11.12 こどもセンターB	おむつの支給もありがたいが、基本のものが揃っているはじめてボックスのようなものがあればいいと思う。子ども用品は、長く使うものが少ないので、リサイクルやリースがあればいいと思う。	不要になった子ども用品を回収して、こどもセンターに置くとか、写真を置かせてもらいレンタルできるような取組があると良いと思う。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 オーレンブラザ子どもセンターでは、不用となった子どもの衣類や靴、小物等を自由に持ち帰れる「おさがりコーナー」を設置しているほか、常設掲示板を通じて利用者間の子ども用品の譲渡を仲介しています。（こども政策課）

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
41	R5.11.12 こどもセンターC	チャイルドシートやベビーカーなど、一時的にしか使わない物のシェアの仕組みはできないか。業者のレンタルも数が限られていて借りるのは難しい。中古品業者の中古品は信頼性がない。そこで、行政が仲介して不要になった物の譲渡の制度を作れないか。また、余ったおむつも捨てるのはもったいない。誰かに使ってもらえる仕組みが作れないか。	議会で検討し、行政へ伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
42	R5.11.12 こどもセンターC	妊娠届の提出時に、保育園の案内をしてほしい。	議会で検討し、行政へ伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
43	R5.11.12 こどもセンターB	子育てinfoは、保育園の情報を知ることができて助かった。	参考になり良かった。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 今後も必要な情報について周知していきます。（こども政策課、幼児保育課）
44	R5.11.12 こどもセンターB	全国的に保育園での虐待事案が報道され心配なので、市で見回り等を行ってほしい。保育園を信用しているが、第三者による見回りがあれば安心する。	行政に伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 不適切保育の防止については、国が策定した「保育所等における虐待等の防止及び発生時の対応等に関するガイドライン」の共有、施設宛での定期的な周知のほか、市と園で情報交換を実施するなどの対応を行っています。また、私立園への指導監査において「虐待等の禁止」に関する項目を設け、毎年、県及び市で確認を行っています。（幼児保育課）

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
45	R5. 11. 12 こどもセンターB	自宅から勤務先まで距離があり、勤務が午前8時からなので、7時30分開所の保育園では時間的に厳しい。勤務先に近い園に預けるとい選択肢もあるが、7時から預かってくれる保育園がもっと増えるといいと思う。	担当課には、保護者それぞれの事情をもっと聞き取ってほしいと思う。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 現在7時から開園している園は私立保育園及び認定こども園をあわせて12園となっています（令和2年度の10園から2園増）。保護者の皆様においては、各ご家庭の状況に合わせて、勤務先に近い園や7時から開園している園を選択するなど対応いただくよう、ご理解とご協力をお願いします。（幼児保育課）
46	R5. 11. 12 こどもセンターA	上越市に移住してきたタイミングが保育園の入園申込期間と合わず、来年度、希望する園への入園が難しいので、今困っている。二次募集や一時保育の利用など、相談窓口で相談しているところである。	移住者の視点でのお話を聴くことができ大変参考になった。また数か月後に、しばらく住んでみてのご意見をお聴きしてみたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 当市では毎年9月から10月が翌年度入園の一次募集期間としており、その時点で上越市に住所がなくても入園の申込みは可能です（入園日において上越市に住所があれば可）。また、2月には二次募集を行っているほか、その後も定員に空きがあれば随時申込みを受け付けています。入園に関する情報は、市ホームページやファミリー移住オンラインセミナーなどで周知していきます。（幼児保育課）
47	R5. 11. 12 こどもセンターB	年度途中からの入園は、1か月前からの申し込み。育休はだいたい1年なので、0、1歳児の枠が狭くてなかなか入れない。国の基準で、こども3人を保育士1人で見るといがあるが、厳しいのではないか。保育士の成り手不足も一因だと思う。	保育士の処遇改善も必要だと考えている。とても大切な仕事だと思うので、もっとお金をかけてもいいと思う。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 年度末に近づくにつれて利用定員が埋まることから、ご希望の園に入園できないケースはありますが、その場合は他の入園可能な園をご案内しています。なお、令和5年度から開始した保育士等人材バンク制度のほか、保育士就職相談会の開催など、引き続き保育人材の確保に努めているところです。（幼児保育課）
48	R5. 11. 12 こどもセンターC	年度初めからの入園の場合、前年の10月が申込締切になっているので、それ以降に生まれた子は入園できない。生まれた月によって申し込みない場合があるのは納得できない。保育園の未満児の受入れ人数を増やすなど、改善してほしい。	議会で検討し、行政へ伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
49	R5. 11. 12 こどもセンターB	現在第2子を妊娠中で、里帰り出産を予定している。上の子どもと一緒に連れて里帰りする予定だが、園に籍をおいたままにすると、毎月保育料がかかる。	私立の保育園では、休園制度があるかどうかは各園によって異なる。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等での対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答（R6年2月時点）】 保育料は国の定めにより月単位で計算することとされており、原則として、お子様が保育園等を欠席しても減額や日割りはされません。（幼児保育課）
50	R5. 11. 12 こどもセンターB	病児保育は1日の料金が高いので補助があれば助かる。送迎もあれば安心。家庭だと体調の変化などに気付けない場合もあり、看護師に看てもらえるのは安心。	-	<input type="checkbox"/> 1 委員会等での対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答（R6年2月時点）】 病児保育の利用料金は、事業実施にかかる費用から国の補助及び市の負担を差し引いた額をご負担いただいております。生活保護受給世帯については減免制度があります。現時点では減免制度の拡充予定はありませんが、体調不良のお子様へ寄り添った保育ができるよう、引き続き病児・病後児保育事業を実施します。 なお、令和4年度から病児保育室における送迎対応を実施していますので、制度を必要とする保護者に利用いただけるよう周知していきます。（幼児保育課）
51	R5. 11. 12 こどもセンターB	ファミリーサポートセンターの利用における補助金が増えたのは良かった。会員になっているが、知らない人に預けることが心配なこと、会社で補助が出るので実際に利用したことはない。	ぜひ今後利用してほしい。民間で助産師が8人程度登録して預かりを行っている所もあるが、料金が安い。県外から来た人が多くなってくると、上越市でもベビーシッター業が必要になった。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等での対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答（R6年2月時点）】 ファミリーサポートセンター事業では、安心して利用いただけるよう、事前に利用者と提供会員との顔合わせを行っています。また、講習会や講座により提供会員の資質向上を図っていますので、ご利用ください。（こども政策課）

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
52	R5.11.12 こどもセンターB	こどもセンターの一時預かりは、枠が少なく、1か月前に連絡しても預けられない場合もある。	ファミリーヘルプ保育園でも預かりを行っている。民間でも対応しているところがある。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 利用の申込状況により、早期に予約が埋まってしまう状況は承知しています。一時預かりは、ファミリーヘルプ保育園や保育園においても実施していますので、是非ご利用ください。（こども政策課）
53	R5.11.12 こどもセンターB	上越市の一時預かりについて、生後7ヶ月より前は預けられない。民間で利用したこともあるが、料金が高い。補助をして、もう少し値段を下げて使いたいようにしてほしい。	同様の声はたくさん聞いている。産前産後ヘルパー等をもっと利用したいという方もいる。民間の力をもっと使うべきだと思っている。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 ファミリーサポートセンター事業では、生後8週間未満の子どもの一時預かりが可能です。今後も民間の団体等とも連携しながら、安心して出産・子育てができる環境の整備に取り組んでいきます。（こども政策課）
54	R5.11.12 こどもセンターB	近くに自分の親が住んでいないので、夫が出張の時に何かあったら心配。	ベビーシッターは国で推奨しているが、現在上越にはない。登録している法人もない。やりたい民間事業者はあるが、ハードルが高い。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
55	R5.11.12 こどもセンターB	上越は住みやすいし、子育てするにはとてもいい環境だと思う。実家に帰ると体調が悪くなり、上越に戻ってくると体調が良くなる。	上越で子どもの喘息が治り、移住した人もいと聞く。空気が良く、子育てに良い環境だと思う。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
56	R5.11.12 こどもセンターB	家事、育児に関して、夫が協力的で育休も取得した。しっかり1か月単位で取得し育児に参加しないと意味がないと思う。	職場の理解があるのは良いこと。上越市役所職員の取得も少しずつ増えているようだ。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 引き続き、男性の積極的な子育て参加の促進に向け、子育てセミナーの実施や父子手帳交付時等の機会を捉えて、広く意識の啓発を図るとともに、男性の育休取得の促進に向けた情報提供等にも取り組んでいきます。（こども政策課）
57	R5.11.12 こどもセンターB	両親に頼れないので、2人で1年間育休をとった。夫は家事、育児に協力的で頼りになるが、金銭的に大変である。	-	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 保育園の整備や一時預かりの実施、病児・病後児保育室の運営など、仕事と子育ての両立に向けた取組を引き続き進めていきます。（こども政策課）
58	R5.11.12 こどもセンターB	妊産婦医療費助成や子ども医療費助成で自己負担が無料になりありがたい。他県の友人から羨ましがられる。	-	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 引き続き安心して出産・子育てができる環境の整備に取り組んでいきます。（こども政策課）

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
59	R5.11.12 こどもセンターB	インフルエンザの予防接種について、子どもは2回受けなければならないため、大人の料金の倍かかる。また、子どもの方が重症化のリスクが高い。高齢者には補助があるが、赤ちゃんに補助がないのはなぜ。1回分だけでも補助があってほしい。	-	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 現在、インフルエンザの予防接種は重症化予防を目的に高齢者を対象に定期接種に位置付け、接種勧奨や費用負担を行っています。 一方で、64歳以下の人への接種は、流行を十分に防ぐことができないことに加え、ワクチンの有効性に限界があること、また、まれに接種の副反応による健康被害が発生する可能性があることなどから任意接種とされています。 64歳以下の人への接種は、あくまでも個人が必要性を判断した上で受けるものであることから、他の任意接種と同様、現時点で接種に対する費用助成を行う予定はありません。（健康づくり推進課）
60	R5.11.12 こどもセンターC	夜間救急に小児科専門がほしい。休日夜間診療所も混んでいて使いにくい。	議会で検討し、行政へ伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	/
61	R5.11.12 こどもセンターC	子どもは、夕方以降に具合を悪くすることが多く、救急かどうかの判断が難しい。電話等で相談できる24時間受付の部署がほしい。	議会で検討し、行政へ伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	/

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
62	R5.11.12 こどもセンターC	不妊治療の助成制度は、年齢制限や回数制限がある。もっと対象を広げて、使いやすい制度にしてほしい。	議会で検討し、行政へ伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
63	R5.11.10 安塚区B	<p>（議員からの問いかけ）中山間地の将来、住まい方についてどう考えているか聞きたい。自分の家に最期までいたいのか、集合住宅への入居を望んでいるのか。</p> <p>→ 高齢者に聞けば、冬場は心細いようだが、元気なうちは自分の家にいたいと言う。近所の人と助け合うのは、近所の人も高齢だから難しい。冬期だけでも集合住宅に入っはと断られ、どうしようもない。町内の役員も若い人は出ていってしまいい回らなくなってきている。</p>	-	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
64	R5.11.12 こどもセンターA	<p>新潟労災病院の閉院問題について、病院周辺の東雲町の住民はあまり関心を持っていないように感じるが、昔から直江津に住んでいる者としては放っておけない問題。住民説明会に来る人は年齢層が高めで、若い人が少なかった。もっと若い世代も考えていく必要がある。</p> <p>閉院後の施設は、川辺の立地を活かして住民が集える、教育機関やリハビリ施設、商店など複合的な施設にできたらいいのではないか。特徴のある教育施設があれば、そこを目当てに家族で移住という人が増えるかもしれない。</p>	発展的なご意見で参考にしたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	<p>【行政側からの回答(R6年2月時点)】</p> <p>住民説明会については、上越地域における医療再編の議論が、地域の医療提供体制の維持・強化を目的としたものであることをしっかりと説明し、市民の理解を得ながら進めていくことが重要であると考えています。今後も、議論の進捗が図られたタイミングで、速やかに説明会を開催するなど、県と連携し、市民の皆さんへの丁寧な説明と周知に努めていきます。</p> <p>施設は、独立行政法人労働者健康安全機構の財産であるため、閉院後の施設の後利用については、機構本部が第一に検討する事柄であり、現段階で市としては検討していません。</p> <p>一方、当該地は、上越市都市計画マスタープランでは生活利便施設混在型住宅地（中高層）、上越市立地適正化計画では都市機能誘導区域・居住誘導区域、用途地域は第一種中高層住居専用地域に位置付けていることから、民間事業者の創意により、開発等の相談があった場合には、これらの計画に基づき、適切に判断していきたいと考えています。（総合政策課、都市整備課、地域医療推進課）</p>

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
65	R5.11.9 板倉区A	会社を定年退職して6年、農業をしている。この先の地域の農業に危機感を持っている。高齢化が進む中、農業だけでは収入が安定せず、労働条件が良くないと若い人が集まってこない。農業の維持に対してもう少し力を入れてほしい。 （議員の発言後） スマート農業の推進で効率化できる部分は限られていて、それ以外の部分で、やはり収入面が問題である。米価の低迷と物価の高騰で厳しい状況がしばらく続くのではと懸念している。	・板倉区でも農業法人が中心になって、ドローンを活用した水管理や農薬肥料の噴霧をしているが、若い人を取り込むにはそういったIT化を率先して導入して、スマートな農業経営を進めていくことが必要だと思う。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
66	R5.11.9 板倉区A	人口減少社会が進む中、農業の機械化が推進され、機械が自動で作業する社会は実現すると思う。	・上越市だけでなく国全体の話でもあるが、最終的には地域内でどういう選択をするのか話し合わなくてはいけない。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
67	R5.11.9 板倉区A	私の持論だが、上越市は人口が確実に減っていくのでコンパクトシティを進めるべきで、そのためには、棚田などにお金をかけるべきではないと考えている。	棚田には、災害防止の機能もあるので、維持していくことは必要だと思う。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
68	R5.11.9 板倉区A	棚田は、水の保全など環境的にも残すべきで、地域としての取り組んでいくことは大事だと思う。		<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
69	R5.11.9 板倉区A	棚田は、整理された平場とは違う。1年に1頭クマの駆除をしているが、クマの他にもイノシシやシカ等が頻繁に生活圏に現れ、ほ場を荒らす。秋田県では、駆除に関していろいろ意見があることが報道されていた。個人的に駆除を良しとは思わないが、共存は難しいと言わざるを得ない。全国的な問題として早急に対策をしてほしい。適正な生息数に管理するため、食糧となる植物を森林内に植えるなどしてはどうか。杉林の手入れがされていないのも問題だと思う。	緩衝帯を整備していく必要があると思う。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 新潟県第13次鳥獣保護管理事業計画に基づき、計画的な予察捕獲を行っており、特に出没が多い中郷区・名立区においては、藪刈り払い等継続的な緩衝帯の整備を行い、大型獣の出没対策を図っていきます。（環境政策課）
70	R5.11.10 安塚区B	魚沼産コシヒカリを見習って、上越でもブランド米を育てるべきだと思う。	-	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 新潟米の販売のうちコシヒカリについては、魚沼地域、佐渡地域、岩船地域、新潟一般地域の4つに区分されており、産地区分として上越という表示を前面に押し出したコシヒカリの販売は難しい状況にあります。 そのような中、当市ではこれまで、生産者と農業関係団体、行政が一元となり、上越産米の品質の維持、向上に努めた結果、日本穀物検定協会による米の食味ランキングにおいて上越地区産コシヒカリが10年連続特Aに評価されるなど高品質、良食味米の産地として、米卸業者等から高い評価をいただいているところです。 このことは、市としても誇るべきことであることから、近年市場が拡大しているふるさと納税においてコシヒカリを返礼品として提供する事業者に対して、上越地区産のコシヒカリが食味ランキング「10年連続特A」の評価を受けているという情報を発信するよう促すなど積極的なPRを図っているところです。引き続き、農業者を始め、JAなどの関係機関・団体と連携し、市場のニーズに応じた品種提供ができ、消費者から信頼される米産地として、ブランド力を高められるよう努めていきます。（農村振興課）
71	R5.11.12 こどもセンターC	市街地のイノシシ対策について、見かけても近づかないように子どもに言い聞かせているが、限界がある。通学時などに不安を感じるので、市でしっかりと対策してほしい。	議会で検討し、行政へ伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
72	R5.11.9 板倉区A	町内に、大雨が降ると用水があふれ冠水する場所がある。総合事務所に相談し、用水の水位を調整するなどして対応しているが、根本的な解決に向けた調整池の整備などは県の対応になり、議員と地元が連名で要望するなど、連携が重要と感じている。	今夏も数回冠水し、県との関わりもある場所。議会としても、しっかりと要望なり対応していきたいと思う。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
73	R5.11.9 板倉区B	市道除雪報償金制度について、大変良い制度なので、来年度以降も継続するようお願いしたい。集落としては大変助かっている。	行政に伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 市道除雪報償金制度は、令和6年度以降も継続予定です。（道路課雪対策室）
74	R5.11.10 安塚区B	市の空き家バンクを見ると、安塚区の登録は2、3件くらいしかない。空き家は沢山あるので、もっと有効活用できるようPRすべきだと思う。市民から効果的なPR方法を募集したりアンケートで聞いてみたいとしてはどうか。	昨年、大島区で壊す直前の空き家を紹介し買い手が見ついた例があった。昔ながらの農家の建物の造りを気に入ったようだった。空き家の活用に向けてあきらめずに工夫・宣伝することが大事だと思う。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
75	R5.11.10 安塚区B	（議員からの問いかけ）集落を出ていく人の後始末はどのようにしているか。墓はどうしているか。 → 家を壊す金もないからそのままにして出ていく人と、子どもたちでしっかり出し合って壊していく人と2通りいる。空き家になると動物が入ったりして近所の人が迷惑するが、どうしようもない。お墓は墓じまいをきちんとする方もいる。	-	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
76	R5.11.10 安塚区B	安塚から出るといっても市外・県外ではなく旧上越市へという人が多い。その人たちが将来、安塚に戻ったら補助金を出すなどしてはどうか。市民を市内で循環させて、決定的に人口流出する場所が発生しないようにする制度を作ってほしい。	・実家と新しい拠点を相互に行き来すると活性化に繋がるので良い考えだと思う。 ・市内で循環させていく制度があれば、地域が衰退しないのではないかとということ。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
77	R5.11.10 安塚区B	（議員からの問いかけ）空き家や廃屋の撤去費用や処分費用を負担してほしいという声はあるか。 → 空き家に対して個人財産に行政は手を出さないとと言われるが、それだと危険空き家が増える一方なので、行政支援を考えて欲しい。	-	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
78	R5.11.10 安塚区B	（議員からの問いかけ）現実に、そういった補助金があれば戻ってくる人がいると思うか。 → 最終的には経済的な問題になる。若い世代は親世代との同居を好まない。出ていってしまうから、親世代から地元へ戻ってもらい、うまく循環させることができればと思う。	-	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
79	R5.11.10 安塚区B	（議員からの問いかけ）除雪など雪対策について何か考えはあるか。 → 冬は、雪が多くて除雪の手伝いも来れない。助けに行きたくても雪は同じに降るから正直難しい。除雪作業が難しい高齢者は、冬場だけ施設に入るか子どものところへ行く人が多いようだ。	-	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
80	R5.11.12 こどもセンターA	中学校の部活動について、学校によっては部活動の選択肢に限られる。希望する部活動がない場合は地域のクラブチームなどに所属するが、学校の部活動より費用が高くなってしまう。何らかの補助があってもいいのではないかと。	-	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 現在、中学校の部活動改革に伴い、地域のスポーツ・文化活動の環境づくりに向けて取り組んでいます。その中で、地域のクラブチームでの活動経費については受益者負担が原則であると考えていますが、経済的に困難なご家庭への支援制度については、国・県に対して財政支援を求めていくとともに、県内他市等の動向を参考にしながら検討していきたいと考えています。（学校教育課、スポーツ推進課、社会教育課）
81	R5.11.12 こどもセンターC	富岡小学校の放課後児童クラブの施設が古く、屋内につららができるなど、極端に寒い。富岡小学校の校舎内にクラブを設置できないか。	議会で検討し、行政へ伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	/
82	R5.11.12 こどもセンターA	直江津地区に高校がなくなってしまう寂しいと感じている。キャリアに連結する郷土愛が育たない。学ぶ場所があり、働く場所があるという繋がりが途絶えてしまう。人材がリターンしにくい現状がある。	-	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 直江津地区の小・中学校においては、生活科又は総合的な学習の時間で、三八市や直江津の町や商店街をフィールドにし、直江津在住の皆様と一緒にまちづくりについて考える学習活動に取り組んでいます。児童生徒は、直江津のよさを感じたり、直江津で生きること・働くことについて考えたりしており、引き続きふるさとに愛着と誇りをもつ子どもの育成を図っていきます。（学校教育課）
83	R5.11.9 板倉区B	廃校になった学校の備品で、まだ使えるものや価値あるものが眠っている。なぜ、利活用や処分が進まないのか。	国などの補助金がらみのものもあつたりするのではないかと。行政に伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 廃校における使用可能な備品等は、他の市立小・中学校に転用し、有効活用しています。（資産活用課、教育総務課）

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
84	R5. 11. 10 安塚区A	大島・浦川原・安塚の中学校が統合されるが、いずれ小学校も統合されるのではないかと心配している。地元小学校だけでも残してほしい。あわせて、学校施設の跡地利用についてどう考えているか。	<p>・小学校をすぐになくすという考えはないと思っている。中学校単位で設置されている地域青少年育成会議の中学校統合後の取扱いについても議論している。大浦安で連携して活動していければと考えている。浦川原では廃校施設で防災キャンプをするなど、地域の子どもたちを集める活動への利用を考えている。</p> <p>・統合によって、子どもたちの通学は大変になるが、仲間が増えるという大きなメリットがある。どこに比重を置いて考えるか、地域で考えて決めるしかないのかなと思う。</p>	<p><input type="checkbox"/> 1 委員会等での対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する</p> <p><input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり</p> <p><input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する</p> <p><input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）</p> <p><input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする</p>	
85	R5. 11. 12 こどもセンターA	フリーでIT関係の仕事をしているが、コワーキングスペースは24時間利用可能なところが1か所しかなく、他は18時までのところが多い。IT業界の場合、あまりよくないことだが、18時で終わる仕事はあまりない。家でやるしかない状態なので、気軽に利用できる場所が増えればよいのかなと思う。	-	<p><input type="checkbox"/> 1 委員会等での対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える</p> <p><input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり</p> <p><input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する</p> <p><input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）</p> <p><input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする</p>	<p>【行政側からの回答(R6年2月時点)】 現在、多様な雇用の場の確保に向け、IT企業等の誘致のほか、受け皿となるコワーキング施設の整備に取り組んでいます。 引き続き、若者や女性が働きやすい環境づくりに向け、ニーズを踏まえ、営業時間の延長や交流イベントの開催など、市内各コワーキング施設の管理運営者と協議していきます。（産業立地課）</p>
86	R5. 11. 10 安塚区A	安塚には雪冷房の技術がある。雪冷房を活用すれば電気代が他の場所よりかからないという側面をPRして、国の補助金を活用したデータセンターを誘致してはどうか。DXの関連会社を誘致する起爆剤にできるのではないかと。雪室はカーボンクレジットの取引にも役立つと思う。	安塚は雪室発祥の地なので、市としてもっと活かしていければと思う。	<p><input type="checkbox"/> 1 委員会等での対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する</p> <p><input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり</p> <p><input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する</p> <p><input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）</p> <p><input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする</p>	

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
87	R5.11.9 板倉区A	中川市長の掲げる通年観光の3本の柱について、まずは、直江津駅周辺を重点的に整備してはどうか。春日山と高田は、お金をかけても今以上は構うことはできないと思う。北陸新幹線かがやきの停車も実現せず、関西からの観光客は見込めないと考える。	ご意見としてお聞きする。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
88	R5.11.9 板倉区B	春日山のレガシー事業や通年観光について、市はどんなことを進めようとしているのかよくわからない。	現在、地域の観光に携わっている方のご意見を聴きながら高田、春日山、直江津における通年観光計画を作成している段階。令和6年3月には計画が策定される予定である。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
89	R5.11.10 安塚区B	上越市の観光を盛り上げるために、春日山に春日山城を復元してはどうか。	-	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R6年2月時点)】 春日山城の復元については、上越市通年観光計画（案）における事業の一つとして総構（土塁、堀）の復元等を位置付けており、事業着手に向けて検討を進めています。 なお、観光庁事業であるレガシー形成事業において、春日山城復元の実現可能性について調査が行われており、3月中に調査結果が示される予定となっております。（魅力創造課、文化行政課）
90	R5.11.9 板倉区	（議会報告に対する質疑） 議会だより4～5ページの定例会のポイントについて、数字だけ並べられてもよくわからない。前年度の数字と比較して記載したほうがよいのではないかと。	広報広聴委員会で検討していく。	<input checked="" type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： 広報広聴 ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	議会だより「かけはし」は、全世帯に配布していることから、どなたにも議会に触れるきっかけとしていただける紙面を目指しています。 ご指摘の「定例会のポイント」については、令和4年（2022年）秋号から現在の形で、提案内容の中から、印象的な一つの数字などを用いながら、市民生活に身近な議題をピックアップし、市政に興味を持っていただけるような紙面構成としています。 前年度の比較も用いながら、引き続き、市政に興味を持っていただける紙面づくりに努めます。

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
91	R5.11.9 板倉区	（議会報告に対する質疑） YouTubeを編集し、見やすくしてほしい。 チャプターを移動すると広告が入る。広告を 除くことができるか。	広報広聴委員会で検討していく。	<input checked="" type="checkbox"/> 1 委員会等での対応を協議（所管：広報広聴） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	YouTubeの委員会配信については、録画配信においては編集等を行い、見やすい動画となるように努めています。 また、YouTubeの広告が入らないようにするためには、 ・チャンネル登録者数が1,000人以上 ・かつ、有効な公開動画の総再生時間が直近の12か月間で4,000時間以上 であることが必要です。 現在、市議会のアカウントについては、 ・チャンネル登録者数が、404人 ・直近の総再生時間が、4,253時間（R6.2.26時点） であり、広告を省く要件を満たしていません。 現時点で広告を除くことは不可能ですが、今後も安定して見やすい配信ができるよう努めます。
92	R5.11.9 板倉区B	仕事で議会中継を見ることはできないが、議会だよりはゆっくりと読めるのでありがたい。写真もふんだんに盛り込まれていて読みやすく、開かれた議会になっていると感じている。	議会の「見える化」を進めている。議会改革推進会議で、市民の皆さんから、自分たちのことを考えている議会だと信頼される議会を作っていこうと改革を進めてきた。議員にもっと叱咤激励いただき、議員の質を上げていきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等での対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	/
93	R5.11.12 こどもセンターA	市議会議員がこのような会をこどもセンターで開き、身近に話を聴いてくれるのありがたい。子育て世代は伝えたい思いを抱えている人が多いと思うので、今後も継続してほしい。札幌市は広くて、議会との距離も遠いと感じていたが、上越市は議会だよりで議員がどんなことをしているのか知ることができるし、市民との距離が近くていいと思う。	議会になかなか接点のない人たちの声をお聴きしたいと開催方法を検討してきた。ご意見を聴けてありがたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等での対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	/

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
94	R5.11.9 板倉区B	今まであまり議会に関心がなかったが、地域の様々な役を担うようになり、議会だよりも初めて読んだ。若い人は「広報じょうえつ」も読まないし、関心がない。「若い人にどうやって伝えていくか」が私個人の課題。	議員も個々に発信してはいるが、一方通行になっていると感じている。このように皆さんとお話できる機会は貴重だと感じている。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
95	R5.11.9 板倉区B	市長の失言が多すぎる。それに対して、議会はどのように対応しているか聞きたい。	・複数の議員が一般質問で採り上げ追及している。議長も注意するよう申し入れを行った。 ・議会としても、しっかりと対峙していく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
96	R5.11.10 安塚区A	市議会ではデジタル社会の推進に関して、どのようなことに取り組んでいるか。ディスコードなどのコミュニケーションツールを活用してはどうか。全国の人と交流ができ情報収集に役立つと思う。これからの時代、若者を引き込むにはDXやGXの推進が重要だと思う。	議会内のデジタル化としては、タブレット利用によるペーパーレス化などを進めているが、引き続き研究していきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
97	R5.11.10 安塚区A	人口減少問題について危機感を持っており、市長に子育て世帯に対して高校卒業までの支援や住宅提供などを行う特区の設置を提案したが噛み合わなかった。市議会には人口減少社会対策特別委員会があるが、どのような対応をしているのか伝わってこない。議会としての考えを示してほしい。	・令和4年4月に特別委員会が市長へ提出した提言書はホームページで公開している。現在も月に1回、提言書作成に向け検討を進めている。12月に開催を考えている委員会ではYouTubeで傍聴できる。人口減少対策に効果を出しているのは危機感を持って取り組んでいるところなので、住民の皆さんが危機感を持っていることは非常に大事だと思う。 ・家庭で子どもたちに上越市の魅力を伝えることも大事だと思う。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
98	R5.11.9 板倉区A	【議員定数に関する意見】 地域自治区28区に各1人で最低28人でも良いし、各議員がしっかりと仕事をしていれば、今の人数でも良いと思う。	-	<p>■ 1 委員会等で対応を協議（所管：議員定数検討会議） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する</p> <p><input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える</p> <p><input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり</p> <p><input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する</p> <p><input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）</p> <p><input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする</p>	<p>議員定数については、今後さらに検討を継続する必要がある。 なお、令和6年4月の上越市議会議員一般選挙における議員定数は、現状維持とする。</p>
99	R5.11.9 板倉区A	市議会議員は市民の代表であり、定数を削減することは、末端の市民の声が届かないということに繋がる。その点も十分に考慮して検討してほしい。減らせばいいというだけではないと考える。	-		
100	R5.11.9 板倉区A	地域自治区の数を定数にするのが良いと思う。地域協議会委員には報酬がないが、議員には税金がかかっている。どこで線を引くかと考えた時に、地域自治区の数とするのが妥当ではないかと。	-		
101	R5.11.9 板倉区A	何人が適切かというのとは分からない。ただ、議員自ら減らす議論をするのは大変だなと思う。	-		
102	R5.11.9 板倉区A	地域協議会との兼ね合い、連携がなかなか見えない部分がある。地域協議会がきちんと機能して、地域の問題点を吸い上げて議会と連携して解決することができれば、議会の人数が減っても、議会では地域協議会から上がってきた課題を整理してまとめればいいだけだから問題ないことになると思う。地域協議会の機能強化、連携が必要。	-		
103	R5.11.9 板倉区A	市民の声がしっかり届けばそれでいいと思う。	-		

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
104	R5.11.9 板倉区B	【議員定数に関する意見】 議員定数についての議論は進んでいるのか。議員はやる気があるのか。	議長から11月までに結論をとという諮問があり8月に検討委員会を立ち上げたが、短期間で結論を出せる問題ではない。来年春の改選には間に合わないが、削減ありきではなく、議員活動の在り方や本質を議論していく。		議員定数については、今後さらに検討を継続する必要がある。 なお、令和6年4月の上越市議会議員一般選挙における議員定数は、現状維持とする。
105	R5.11.9 板倉区B	通年議会の導入は、来年度から取り組むようだが、議員定数は時期的なものが示されおらず、議員の本気度が見えない。前回の中郷区のご意見を聴く会では減らすべきではないという意見が多かったが、人口が減っているのに議員を減らさないのは説得力がない。議員定数の問題はお金が絡む問題で、同規模の市の平均を見ると25人～28人が適正ではないか。	ご意見は定数検討委員会に伝えるが、議員が市民の声をどう行政へ反映させるかを考えた時に、人数だけの問題ではなく、議員の質の問題でもある。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1 委員会等で対応を協議（所管：議員定数検討会議） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする 	
106	R5.11.9 板倉区B	「削減ありきではない」ということを大前提に掲げないとこの議論は進まないと思う。	-		
107	R5.11.9 板倉区B	「地域の政策サポーター」を議会が選定・養成して、議会と一緒に地域の問題を解決するような仕組みづくりをしてはどうか。議員が少ない地域もフォローできるのではないか。	議員は役割として「市全体のことを広域的に考えること」と「地域の代表」という二面性を持っている。そうしたことも含め、皆さんの声も聴きながら議論を進めていく。		

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
108	R5.11.9 板倉区B	<p>【議員定数に関する意見】 町内会長が一番の悩みは、民生委員や地域協議会委員をはじめ、様々な地域の役のなり手が少ないこと。定年延長で仕事を持っている人が多く、なかなか引き受けしてもらえない。議員が減った分、政策サポーターをというのも良い案だが人選が課題だと思う。</p>	<p>・議員定数の検討においても、なり手不足は課題の1つで、併せて考えていかなければならない。定数をどうするにせよ、市民の皆さんにとってよいことにならないといけないので、しっかり議論することが必要だと考えている。</p> <p>・議員の中でもいろいろな考えがあり、とりまとめるのは難しい。どう道付けをするのが大事だと思う。</p> <p>・前回の市議会議員選挙で女性議員が7人に増えた。これは議会として、女性が議員になろうと思える環境づくりを進めた結果だった。若い世代が生活の心配をせずに議員を目指す環境づくりが大切だと思う。</p>	<p>■ 1 委員会等で対応を協議（所管：議員定数検討会議） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する</p> <p><input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える</p> <p><input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり</p> <p><input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する</p> <p><input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）</p> <p><input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする</p>	<p>議員定数については、今後さらに検討を継続する必要がある。 なお、令和6年4月の上越市議会議員一般選挙における議員定数は、現状維持とする。</p>
109	R5.11.9 板倉区B	若い人で仕事を持っている場合、議員との両立は難しいのではないかと。	議員になって大きく違うと感じたのは、「公人」の立場としての責任感の重みで、副業は時間的にも厳しいと感じている。		
110	R5.11.9 板倉区B	4常任委員会×7人で、28人が妥当ではないかと考える。	<p>・行政に対するチェック機能が十分に果たせるかが重要で、多様性社会の今、多様な背景を持った議員が必要だと考える。</p> <p>・人数のことだけではなく、議員活動の在り方もあわせて議論していく。市民の皆さんの意見を聴いたうえで、議員でしっかり検討していく。</p>		
111	R5.11.9 板倉区B	議会だよりをよく読んでいます。議員の意欲をチェックすることができる。地域の声をいかに政策に反映させるかが問題で、地域協議会と議員が日頃から連携を深めることが重要だと考える。定数は削減ありきではなく、住民の声を反映できるかを第一に考えていく必要がある。	議員の活動が市民の皆さんへなかなか伝わらないために、人数はそれほど必要ないという考えもあるのかと思っていたので、議会だよりをよく読んでいただきありがたい。		

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和5年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	当日の議員の発言	対応方針協議結果（課題調整会議結果）	委員会等の対応協議結果等（概要）
112	R5.11.10 安塚区A	【議員定数に関する意見】 前回の市議会議員選挙で女性議員が7人誕生したのは良いことだと思う。人口は減っているが、市の面積が広いので、32人が適正なのではないかと思う。	ご意見を踏まえて議会でしっかり検討していきたい。	<p>■ 1 委員会等で対応を協議（所管：議員定数検討会議） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する</p> <p><input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える</p> <p><input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり</p> <p><input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する</p> <p><input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）</p> <p><input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする</p>	議員定数については、今後さらに検討を継続する必要がある。 なお、令和6年4月の上越市議会議員一般選挙における議員定数は、現状維持とする。
113	R5.11.10 安塚区A	総合事務所を頼りにしており、議員の人数が減ってもそれほど影響はないのではないかと考えている。			
114	R5.11.10 安塚区A	市外から、違う視点で上越市を見てくれる議員がいてもいいのかなと思う。			
115	R5.11.10 安塚区A	時代の流れとして、定数を減らさなくてはいけないのであれば、地域の声を拾うために小選挙区制度を導入してはどうか。			
116	R5.11.10 安塚区B	定数を32人に定めた平成24年と現在で状況はどう変わったか。議員定数の削減は地域の声が届かなることに繋がるので、社会状況の変化が分かかっていないと考えてみようがないと思う。			
117	R5.11.10 安塚区B	現在の32人が多いとは思わない。広大な上越市の意見を吸い上げるために人数は必要だと思うので現状維持が良い。	-		
118	R5.11.10 安塚区B	議会の活動があまり見えてこない。この先を考えると減らしていくべきなのかなと思う。少数精鋭でも、やれるのかなと思う。	-		
119	R5.11.10 安塚区B	地元の議員がいなくても、議員になった人が各地域へ足を運んで目配り・フォローすべきことだと思う。	-		
120	R5.11.10 安塚区B	中山間地で人口減少が進む中、議員定数を減らしていいのかどうかは非常に難しい問題で、正直分からない。	-		